

I. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

(1)調査時点 平成 22 年 7 月 1 日

(2)調査対象期間 平成 22 年 4 月～6 月期の実績および平成 22 年 7 月～9 月期の見通しについて調査した。

2. 調査対象

当所会員企業を対象に、商業+食品業部会、水産業部会、機械工業部会、建設業部会、観光・サービス業+諸業部会より各 30 社、計 150 社を抽出し郵送により調査した。

3. 回収状況

	対象企業数	回答企業数	回 答 率
商業+食品業部会	30 社	21 社	70.0%
水産業部会	30 社	18 社	60.0%
機械工業部会	30 社	19 社	63.3%
建設業部会	30 社	19 社	63.3%
観光・サービス業+諸業部会	30 社	20 社	66.7%
合 計	150 社	97 件	64.7%

注) 本調査結果の中で、「D・I」値とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値（景気動向指数）を示す。

Ⅱ. 概況

－業況は横ばい次期好転見込み－

1. 全体の動き(業況)

四半期毎に実施している中小企業景況調査の**今期(平成22年4月～6月)の全業種平均DI値**(「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差)は、**前年同期比では△40.8**と前回調査時の△31.7より**9.1ポイントのマイナス**となりました。業況指数は回復する方向性が見えず、依然として市内経済を取り巻く経営環境は厳しい状況にあることが再確認されます。

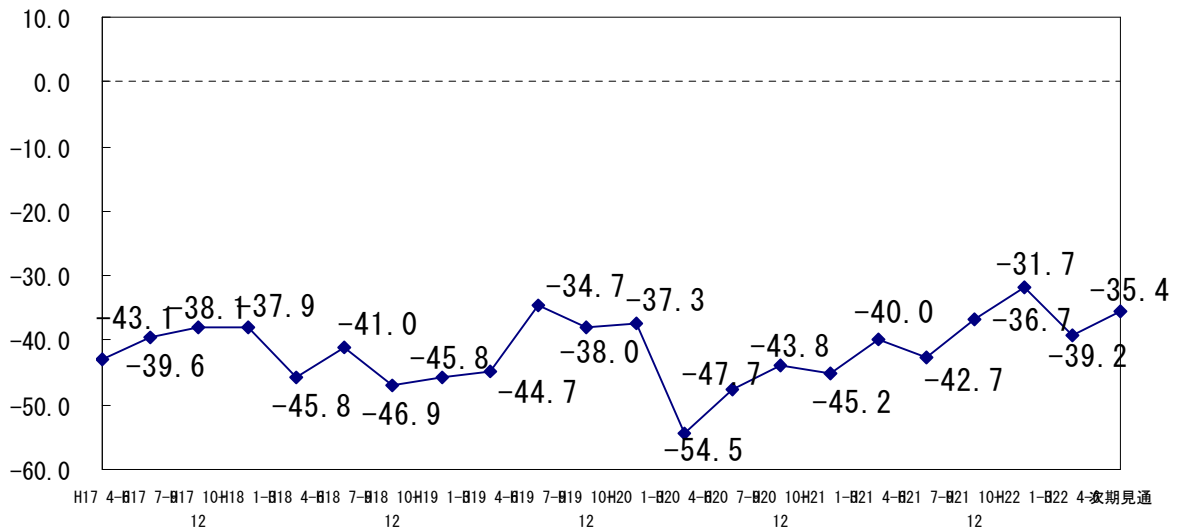
部会別で前年同期比ベースをみると、商業・食品業[前期△31.3→今期△42.9]、水産業[前期△40.0→今期△38.9]、機械工業[前期△29.4→今期△15.8]、建設業[前期△15.8→今期△47.4]、観光・サービス・諸業[前期△46.7→今期△50.0]となりました。年度明けの第1四半期目に建設業が悪化、国会情勢の不安定さで先行きも不透明、業況は厳しくなっております。一方、機械工業部会はエコカー減税や船舶の修理、機械需要等業況改善が見受けられます。

全体の業況はグラフを見ると回復傾向でここまで右肩上がりだったが、ここに来て業況指数も伸びがなくなり、今後のブレがどのようになるのか予測のつかないところである。

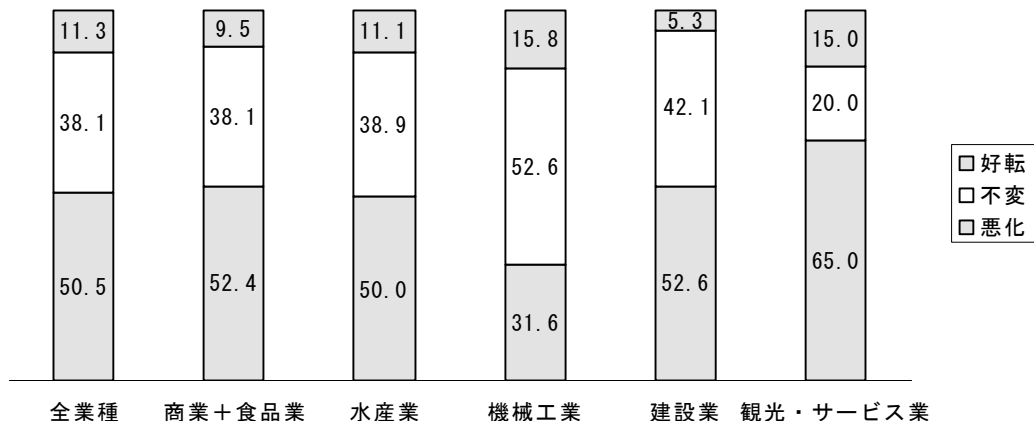
来期(平成22年7月～9月)については、全体では今期と比べて**業況判断DIが3.8ポイント改善**するとの予測となっているが、全体的な業況の悪化状況は変わらないとの見方ができています。どの業種も先行きに明るい材料が見受けられない状況です。

業況推移 (全業種平均D・I)

前年同期比



今期の業況(前年同期比)



経営上の問題点としては、全体的に需要の停滞を訴える声がさらに多く寄せられています。また商店街の疲弊化はさらにひどくなっており、お盆商戦を含む次期見通しも悪化見込みの予想となっており、非常に厳しい状態を強いられています。今年由市議選が終了し、市議の候補の中にも選挙カーから中心市街地の活性化をがんばるとの声やまちづくりの応援をしていきたいなど公約を掲げられた方も多数見受けられたので今後の動向に注意していきたいと思います。設備投資については、前期同様、依然慎重な動きが続いています。

■部会別の動向

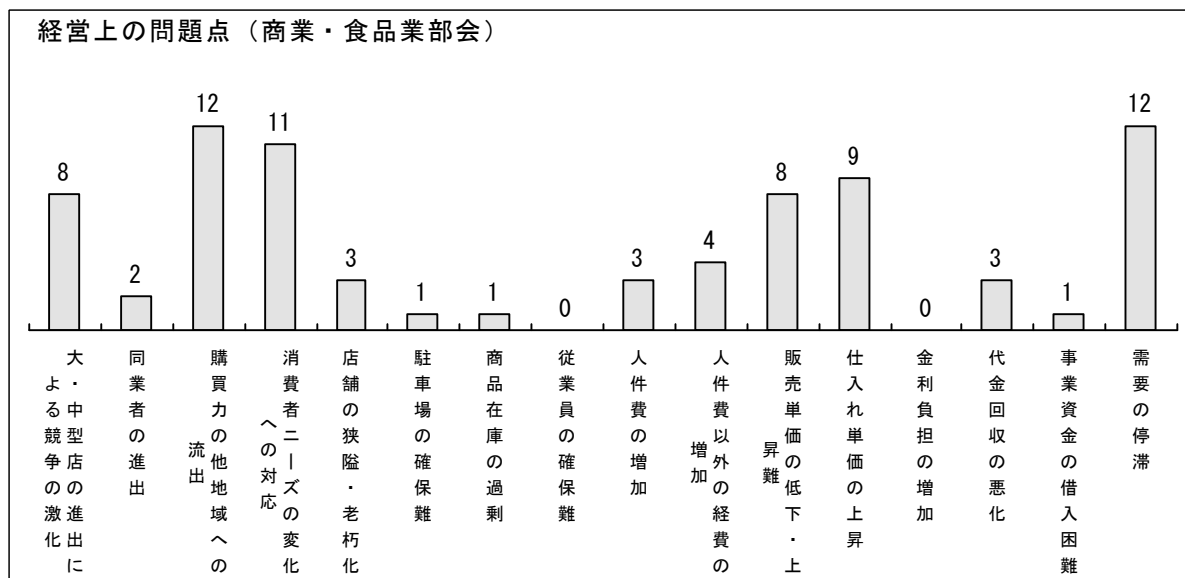
【商業・食品業部会】〔業況判断DI値（前年同期比） $\Delta 42.9$ （前期 $\Delta 31.3$ 、来期見通し $\Delta 47.6$ ）〕

業況DI値（前年同期比）は、依然厳しい状況で推移しています。春物を中心として売上の回復が期待されましたが、前回予想を下回る結果となっています。次期の見通しは4.7ポイント悪化すると予想されています。

経営上の問題点としては「需要の停滞」「購買力の他地域への流出」「消費者ニーズの変化への対応」を訴える声が多くなっています。

《業界の問題点等》

- ・街（中心街？）に人が来ない！（小売）
- ・10月からのたばこの増税による値上げに不安大（小売）



【水産業部会】〔業況判断DI値（前年同期比） $\Delta 38.9$ （前期 $\Delta 40.0$ 、来期見通し $\Delta 22.2$ ）〕

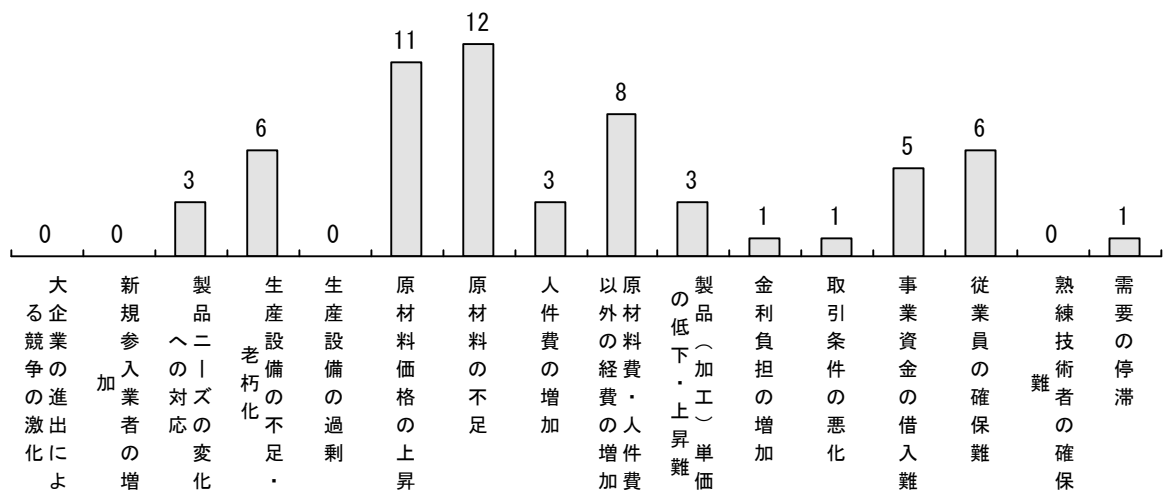
業況判断DI値（前年同期比）は前期同様低い指数となっております。最盛期をむかえる来期見通しについては $\Delta 22.2$ ポイントと改善の期待を見込んだ数字となっております。毛ガニの水揚げもそこそこで、6月頃から本格操業に入ったホタテも今のところ貝毒も出ておらず順調な滑り出しといえます。

経営上の問題点としては「原材料の不足」「原材料価格の上昇」「原材料費・人件費以外の経費の増加」を訴える声が多い。

《業界の問題点等》

- ・消費の冷え込みが回復せず懸念している。（水産加工業）

経営上の問題点（水産業部会）



【機械・工業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）△15.8（前期△29.4、来期見通し△27.8）〕

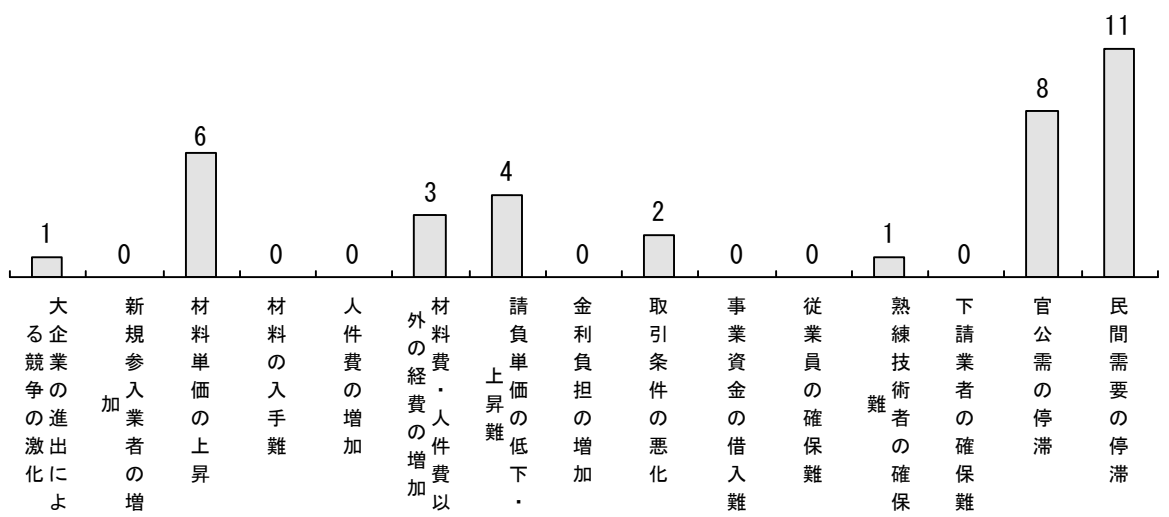
業況判断DI値（前年同期比）は、前期比で13.6ポイントの改善となった。その要因としてはエコカー減税等の効果や年度初めの修理作業等の数字と思われる。しかしながら次期見通しの業況判断は繁忙期を迎える夏場でありながら、業況悪化の見通しとしています。

経営上の問題点としては「民間需要の停滞」「官公需の停滞」を訴える声が多い。

《業界の問題点等》

- ・若手の育成（機械修理）
- ・業種の内容で4～6月は好転だが、7～9月は不変です。時期的業種のため、1年中波があります。売上の不振。（機械）
- ・①生産物の消費減少 ②生産物の価格下落の為、設備投資減少。（機械修理）

経営上の問題点（機械・工業部会）



【建設業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）△47.4（前期△15.8、来期見通し△31.6）〕

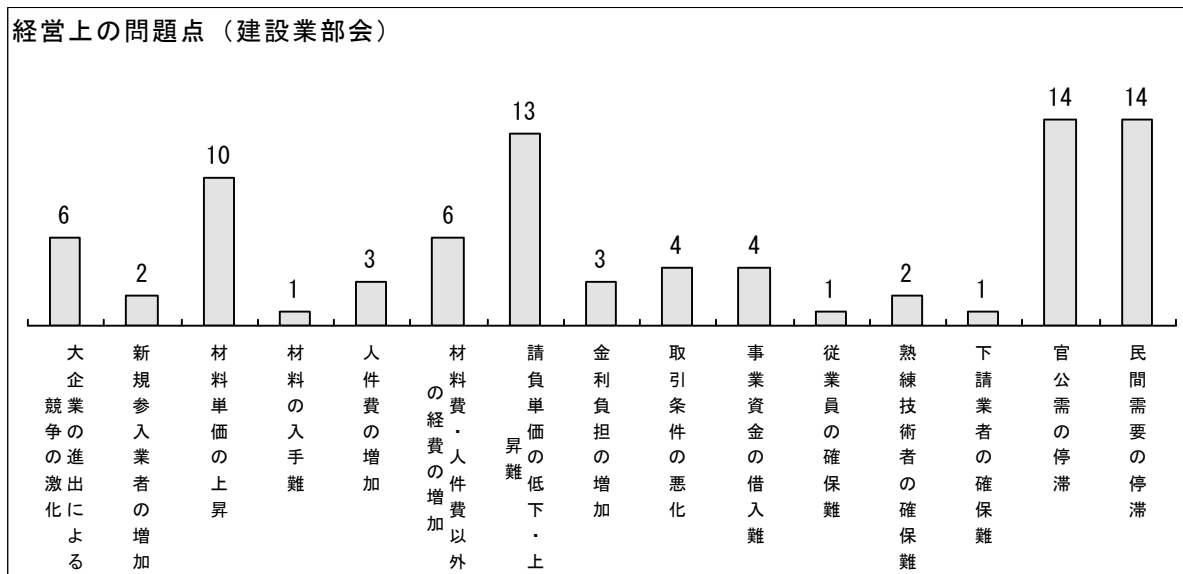
業況判断DI値（前年同期比）は、前期よりも大幅に悪化している状況です。これから本格的な繁忙期に入る予定ですが、「政局の不安定さから先行きは不透明のまま、公共工事の減少等、大きな回復は見込めず厳しい状況がうかがえます。

経営上の問題点としては「民間需要の停滞」「官公需の停滞」「請負単価の低下・上昇難」を訴える声が多い。

《業界の問題点等》

- ・市役所の新しい（独自）事業が出てこない。（役所の怠慢姿、近郊の市町村を見ろ！）（建設）

・着工から完成、引渡までの機関が長くなってきていると思う。(電気工事)



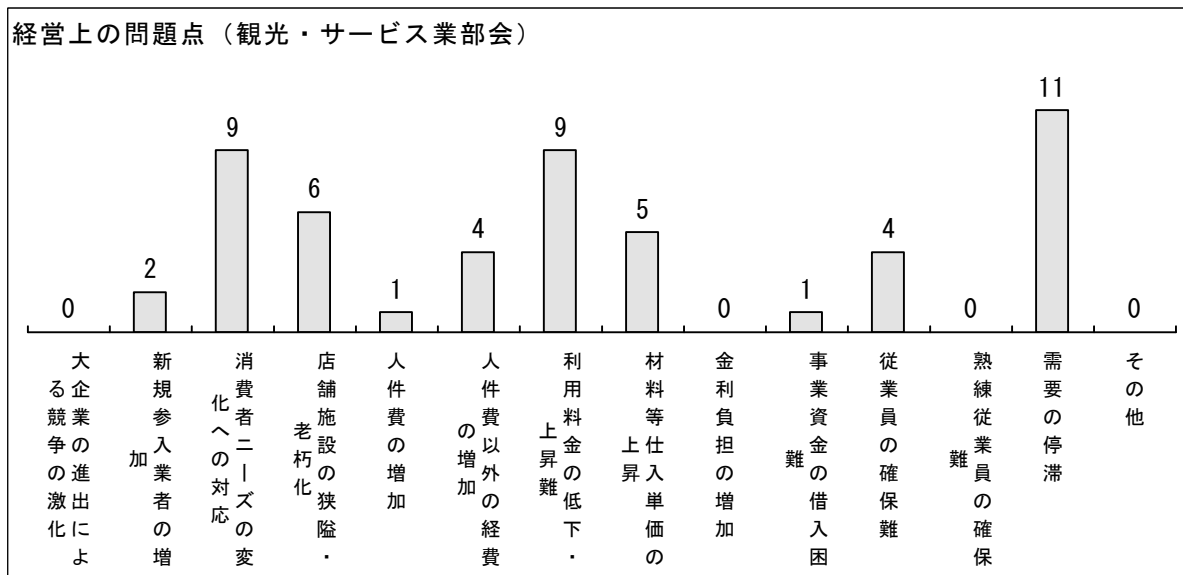
【観光・サービス・諸業部会】 [業況判断DI値(前年同期比) $\Delta 50.0$ (前期 $\Delta 46.7$ 、来期見通し $\Delta 45.0$)]

業況判断DI値(前年同期比)は前期ほぼ横ばいの悪化状態が継続。観光シーズンになったにもかかわらず先行き見通しは悪い状態である。市内経済の低迷による客足の遠のきや選挙(2回)のある年は飲食街が閑散とするとの声をよく聞きます。

経営上の問題点としては、「需要の停滞」「利用料金の低下・上昇難」「消費者ニーズの変化への対応」を訴える声が多い。

《業界の問題点等》

・何をやってもダメ。(飲食業)



2. 今期の動向

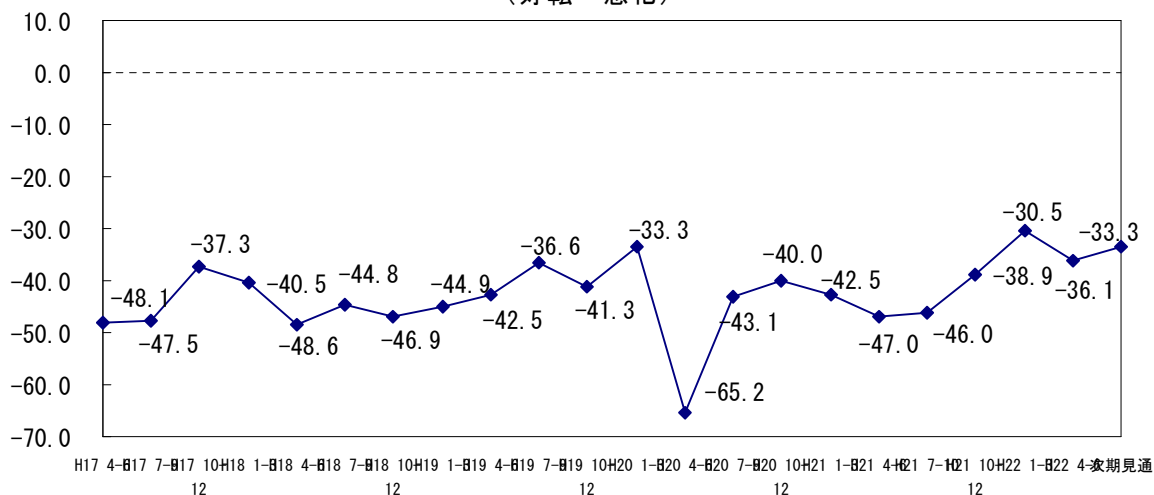
(1) 今期の売上高・生産高

【前年同期比】（平成 21 年 4 月～6 月期の水準と比較した今期の売上高）

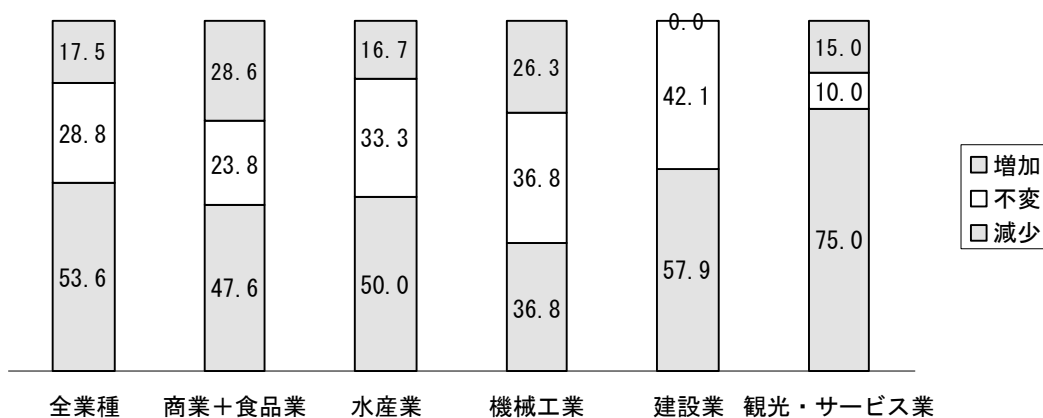
売上状況（全業種平均 D・I）

（好転－悪化）

前年同期比



今期の売上高・生産高（前年同期比）



全業種平均でDI値 Δ 36.1〔前回調査時（平成 22 年 1～3 月期 Δ 30.5）より 5.6 ポイントマイナス幅を拡大〕 来期は 2.8 ポイント回復の見込み。

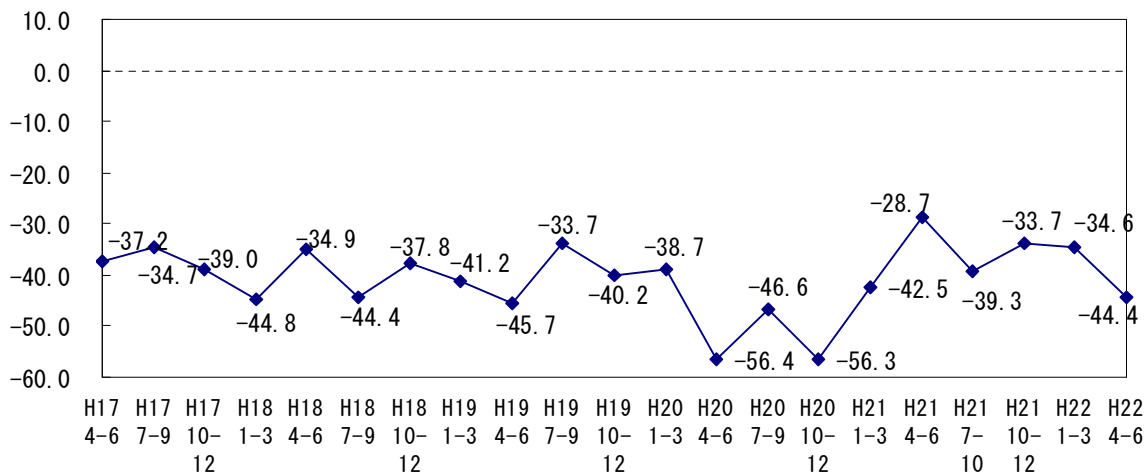
〔部会別 DI 値〕 商業・食品業〔前回 Δ 50.0 \rightarrow Δ 19.0〕、水産業〔前回 Δ 26.7 \rightarrow Δ 33.3〕
 機械工業〔前回 Δ 23.5 \rightarrow Δ 10.5〕、建設業〔前回 Δ 10.5 \rightarrow Δ 57.9〕
 観光・サービス業〔前回 Δ 46.7 \rightarrow Δ 60.0〕

(2) 今期の採算

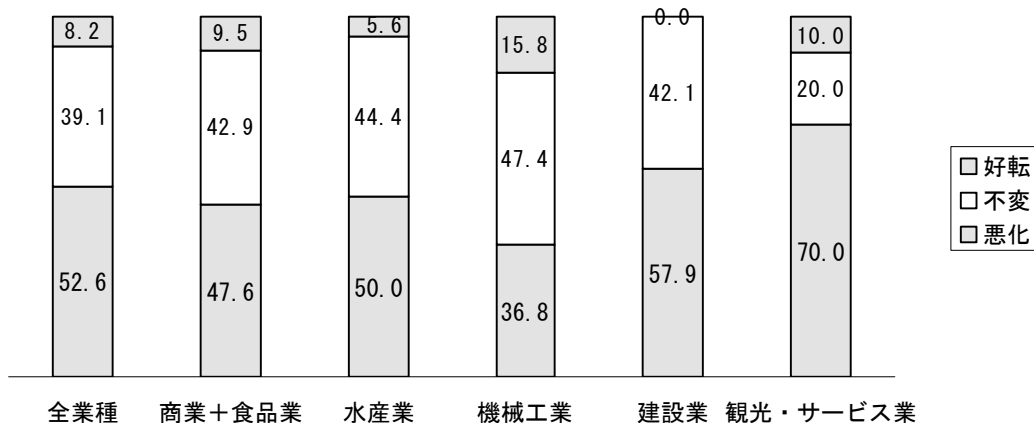
【前年同期比】（平成 21 年 4 月～6 月期の水準と比較した今期の採算水準）

採算推移（全業種平均 D・I）
（好転－悪化）

前年同期比



今期の採算（前年同期比）



全業種平均でDI値△44.4〔前回調査時（平成 22 年 1～3 月期△34.6）より 9.8 ポイントマイナス幅を拡大〕

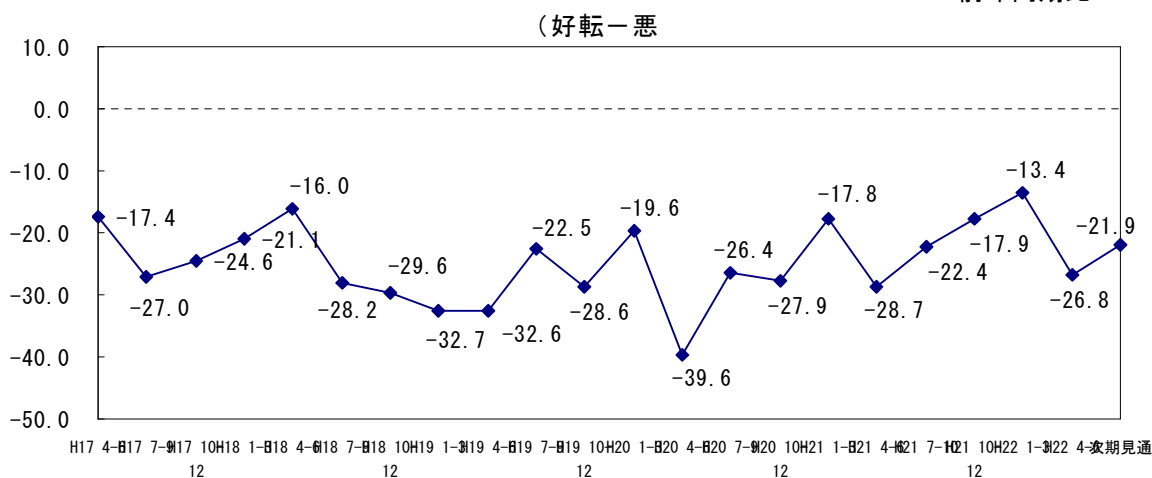
〔部会別 DI 値〕 商業・食品業〔前回△37.5→△38.1〕、水産業〔前回△20.0→△44.4〕
 機械工業〔前回△47.1→△21.1〕、建設業〔前回△33.3→△57.9〕
 観光・サービス業〔前回△33.3→△60.0〕

(3) 今期の資金繰り

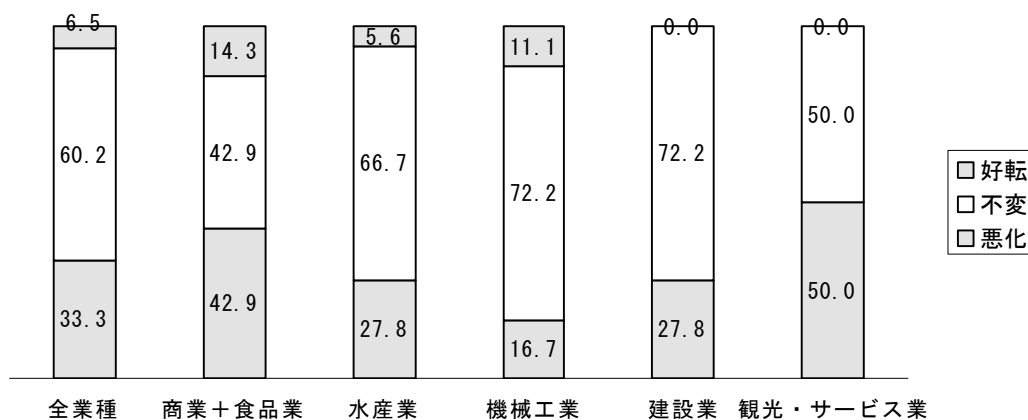
【前年同期比】（平成 21 年 4 月～6 月期の水準と比較した今期の資金繰り）

今期の資金繰り（全業種平均 D・I）

前年同期比



今期の資金繰り（前年同期比）



全業種平均で DI 値△26.8〔前回調査時（平成 22 年 1～3 月期△13.4）より 13.4 ポイントマイナス幅を拡大〕

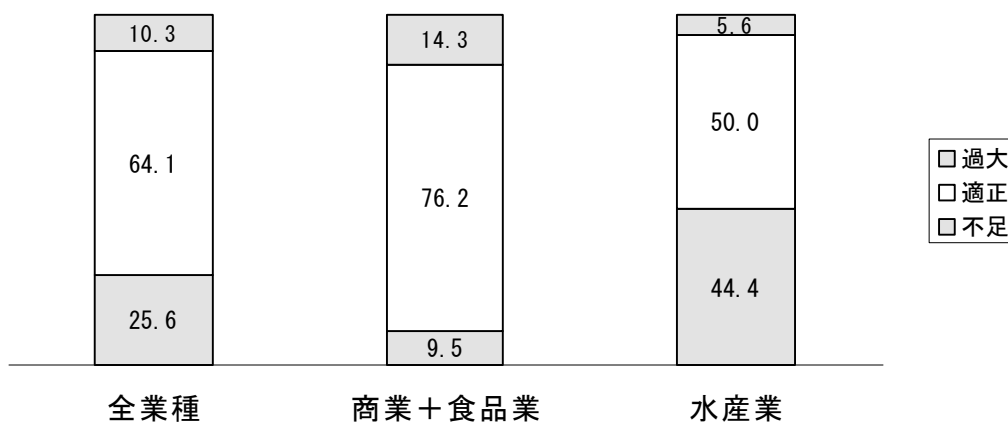
〔部会別 DI 値〕

商業・食品業〔前回△18.8→△28.6〕、水産業〔前回△25.0→△22.2〕
 機械工業〔前回△23.5→△5.6〕、建設業〔前回△10.5→△27.8〕
 観光・サービス業〔前回△26.7→△50.0〕

(4) 今期の在庫水準

【前年同期比】（平成 21 年 4 月～6 月期の水準と比較した今期の在庫水準）

今期の在庫水準（前年同期比）



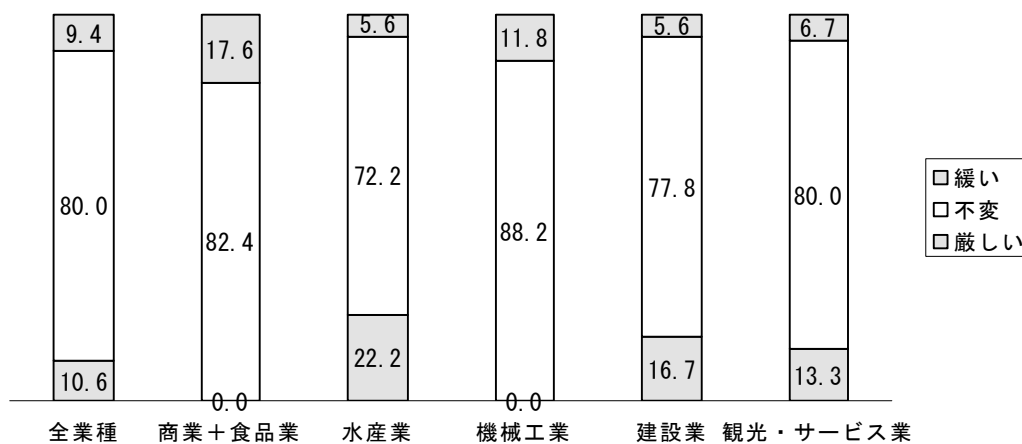
全業種平均で DI 値△15.3〔前回調査時（平成 22 年 1～3 月期△12.9）より 2.4 ポイント在庫減少〕

〔部会別 DI 値〕 商業・食品業〔前回△6.3→+4.8〕、水産業〔前回△20.0→△38.9〕

(5) 今期の金融機関の貸出姿勢

【前年同期比】（平成 21 年 4 月～6 月期の水準と比較した今期の金融機関の貸出対応）

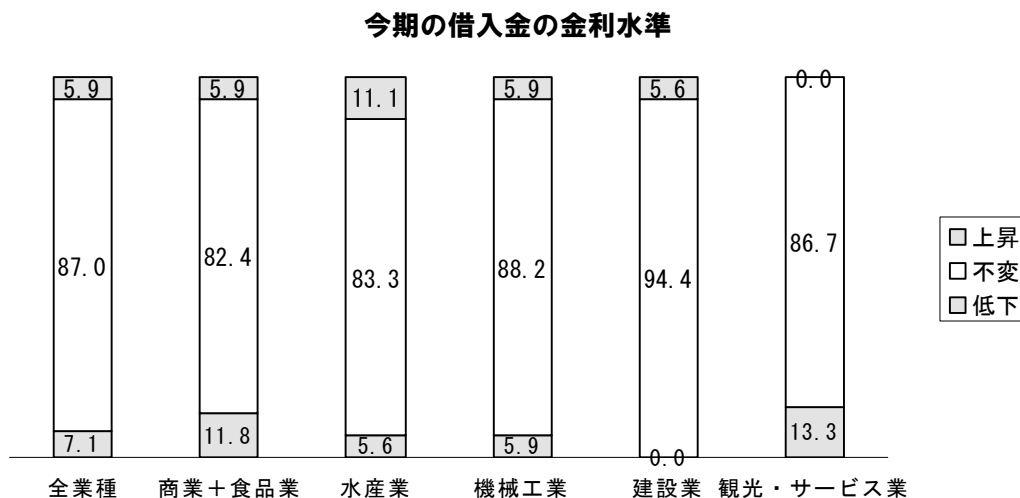
今期の金融機関の貸出姿勢



全業種平均で△1.2 ポイント。商業食品業 17.6 水産業△16.7 機械工業 11.8 建設業△11.8 観光サービス業△6.7。

(6) 今期の借入金の金利水準

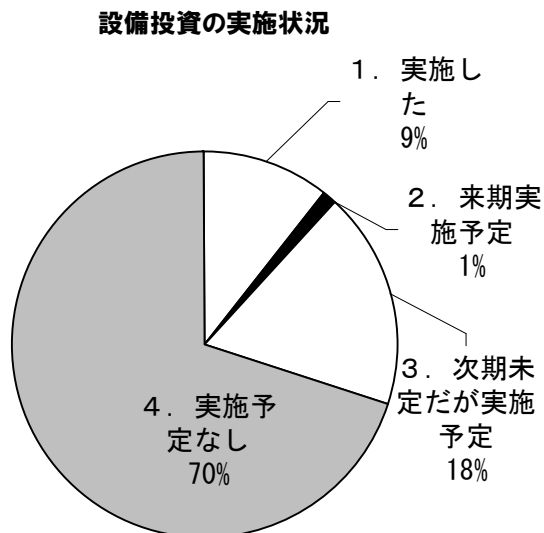
【前年同期比】（平成 21 年 4 月～6 月期の水準と比較した今期の借入金の金利水準）



全業種平均で $\Delta 1.2$ ポイント。商業食品業 $\Delta 5.9$ 水産業 5.6 機械工業 0.0 建設業 5.6 観光サービス業 $\Delta 13.3$ 。

(7) 設備投資の実施状況

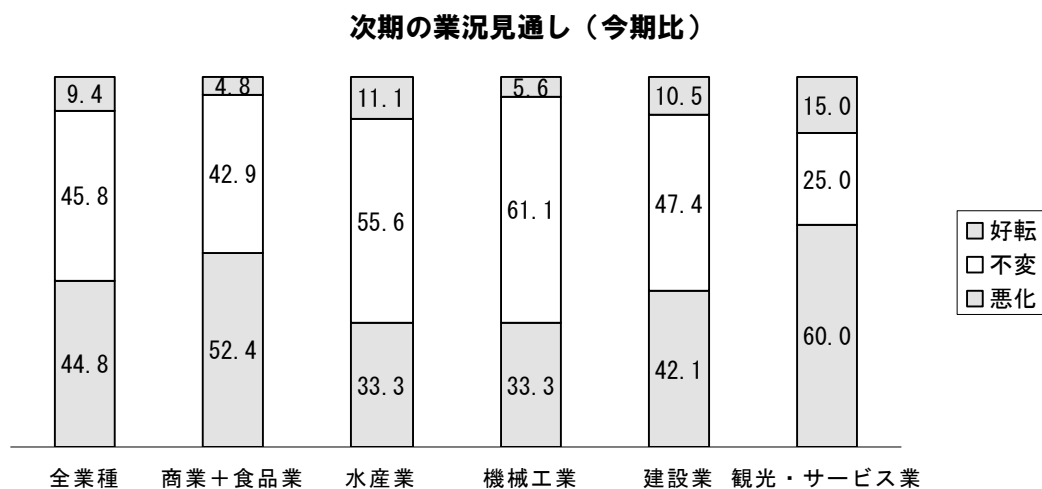
今期の店舗・社屋・工場等への設備投資実施状況について



3. 来期の見通し

(1) 来期の業況

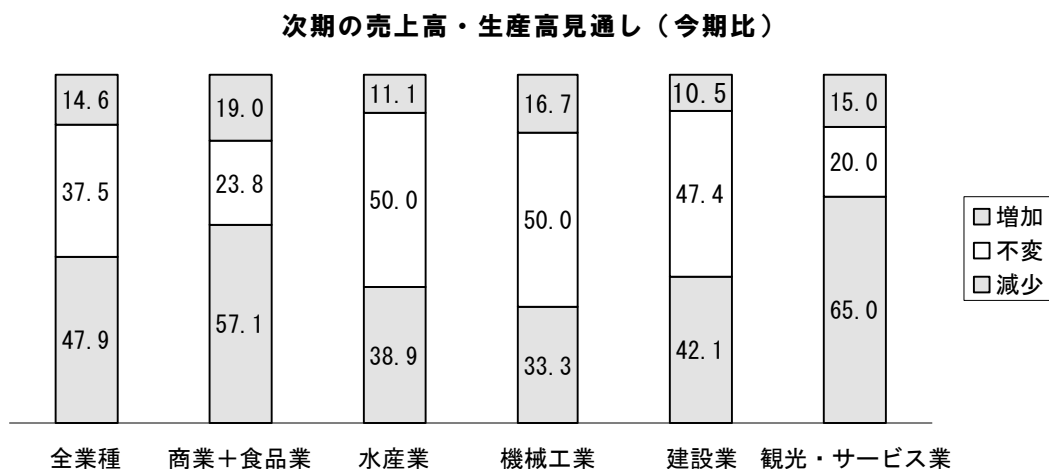
【今期比】（平成 22 年 4 月～6 月期の水準と比較した来期の業況見通し）



全業種平均 DI 値 $\Delta 35.4$ [今期の業況（前年同期比 $\Delta 39.2$ ）より 3.8 ポイント回復の見通し]

(2) 来期の売上高・生産高

【今期比】（平成 22 年 4 月～6 月期の水準と比較した来期の売上高・生産高見通し）

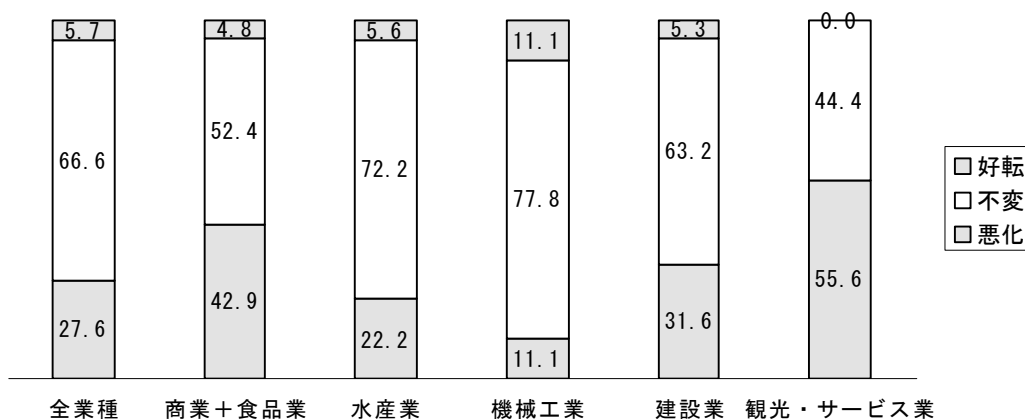


全業種平均 DI 値 $\Delta 33.3$ [今期の売上高・生産高（前年同期比 $\Delta 36.1$ ）より 2.8 ポイント改善の見通し]

(3) 来期の資金繰り見通し

【今期比】（平成 22 年 4 月～6 月期の水準と比較した来期の資金繰り見通し）

次期の資金繰り見通し（今期比）



全業種平均 DI 値 $\Delta 21.9$ [今期の資金繰り（前年同期比 $\Delta 26.8$ ）より 4.9 ポイント改善の見通し]

Ⅲ. 各 指 標

		全 体	商 業 食 品 業	水 産 業	機 械 工 業	建 設 業	観 光 サ ー ビ ス ・ 諸 業
業況判断 D・I	今期実績	$\Delta 39.2$	$\Delta 42.9$	$\Delta 38.9$	$\Delta 15.8$	$\Delta 47.4$	$\Delta 50.0$
	来期見通し	$\Delta 35.4$	$\Delta 47.6$	$\Delta 22.2$	$\Delta 27.8$	$\Delta 31.6$	$\Delta 45.0$
売上 D・I	今期実績	$\Delta 36.1$	$\Delta 19.0$	$\Delta 33.3$	$\Delta 10.5$	$\Delta 57.9$	$\Delta 60.0$
	来期見通し	$\Delta 33.3$	$\Delta 38.1$	$\Delta 27.8$	$\Delta 16.7$	$\Delta 31.6$	$\Delta 50.0$
在庫 D・I	今期実績	$\Delta 15.3$	4.8	$\Delta 38.9$	—	—	—
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
採算 D・I	今期実績	$\Delta 44.4$	$\Delta 38.1$	$\Delta 44.4$	$\Delta 21.1$	$\Delta 57.9$	$\Delta 60.0$
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
資金繰り D・I	今期実績	$\Delta 26.8$	$\Delta 28.6$	$\Delta 22.2$	$\Delta 5.6$	$\Delta 27.8$	$\Delta 50.0$
	来期見通し	$\Delta 21.9$	$\Delta 38.1$	$\Delta 16.7$	0.0	$\Delta 26.3$	$\Delta 55.6$
金融機関 貸出姿勢 D・I	今期実績	$\Delta 1.2$	17.6	$\Delta 16.7$	11.8	$\Delta 11.1$	$\Delta 6.7$
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
借入金 金利水準 D・I	今期実績	$\Delta 1.2$	$\Delta 5.9$	5.6	0.0	5.6	$\Delta 13.3$
	来期見通し	—	—	—	—	—	—

※借入金金利水準 D・I 値のプラス値については、借入金利が上昇したと感じた回答が多い時にプラス値で表示されます。